

第3回議会運営委員会会議記録

【開催日】平成27年11月27日(金)

【開催場所】第一委員会室

【開会・散会時間】午後1時～午後1時51分

【休憩時間】なし

【出席委員】

委員長	大井淳一郎	副委員長	河崎平男
委員	石田清廉	委員	下瀬俊夫
委員	矢田松夫		

【欠席委員】なし

【委員外議員等】

議長	尾山信義	副議長	三浦英統
----	------	-----	------

【事務局出席者】

事務局長	古川博三	事務局次長	清水保
主査兼議事係長	田尾忠久	庶務調査係長	島津克則
庶務調査係主任主事	梅野貴裕	議事係主任主事	原川寛子

【付議事項】

- 1 平成27年第4回(12月)定例会に関する事項について
- 2 その他

【議事の概要】

1 平成27年第4回(12月)定例会に関する事項について

(1)会期案について

・12月2日(水)から12月18日(金)までの17日間に決定した。

(2)広報広聴特別委員について

・大井淳一郎委員長から「今回広報広聴特別委員会の部会制を廃止し、委員定数を9人とする」との説明があった。

・事務局から委員変更の流れを説明した。詳細は別添資料のとおり。

・下瀬俊夫委員から部会制廃止や委員定数減の経緯について確認があった。

・三浦英統広報広聴特別委員長から「一元化のほうが審議も明瞭・明確にできる、部会から委員会に諮った際に意見がなかなかまとまらなかった、人数が少ないほうが効率的ではないかとの理由で部会制を廃止することとなった」との説明があった。

・大井淳一郎委員長から「部会制を敷いた理由として負担がかなり重いということがあった。部会制を廃止して負担が過度に増えないよう特別委員会の中で分掌事務を整理していきたい」との発言があった。

・下瀬俊夫委員から「意見の不一致をなかなか調整できず、いろいろ問題があったため1つにするということか」との発言があった。

- ・大井淳一郎委員長から「効率的に進めていくために適正な人数に収めようというのが正直なところである」との発言があった。
- ・尾山信義議長から「すみ分けをしていることに弊害があったので1本にして運営していったらどうかという意見をした」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「量より質を求めたということか」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「先日議会だよりの在り方について研修を受けた。表題も含めて抜本的に改善する時期に来ている」との発言があった。
- ・石田清廉委員から「今後も特別委員会の人選については議運の委員長と議長であらかじめ決め、議運で承認するということか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「今回は時間的なこともあった。以前広報広聴にいた人を中心に、また会派、諸派からのバランスも考えて選んだため、今回は議長と調整した」との発言があった。

(3) 議席の変更について

- ・事務局から議席の変更について説明し、了承した。詳細は別添資料のとおり。
- ・監査委員を議席番号1番、議長を議席番号20番、副議長を議席番号19番とすることに決定した。

(4) 会議規則の改正について

- ・事務局から会議規則の改正案を説明した。詳細は別添資料のとおり
- ・下瀬俊夫委員から「育児休暇はどうなるのか」との発言があった。
- ・事務局から「法で定められている産前産後の休暇をまずは定めてほしいというものである」との発言があった。

(5) 議事日程案について

- ・事務局から議事日程案を説明し、了承した。詳細は別添資料のとおり。
- ・下瀬俊夫委員から委員会予備日について質問があった。
- ・事務局から「理科大の特別委員会もあるので予備日で調整した」との発言があった。

(6) 陳情書等の取扱いについて

- ・宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書(付託しない)
- ・山陽小野田市農業施策に関する要望書(産業建設)
- ・沖縄の米軍普天間飛行場の代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情(付託しない)
- ・下瀬俊夫委員から「行政機関が議会に要望書を出せるのか」と発言があった。
- ・事務局から「執行部に出した内容のものを議会として読んでおいてほしいという形である」との発言があった。

2 その他

(1) 全員協議会の開催日時及び内容について

- ・12月2日(水)午前9時(議運決定事項、議席のくじ引き)
- ・12月2日(水)本会議終了後(パブコメ、報告事項)
- ・下瀬俊夫委員から長生園組合議会も報告を行いたい旨の発言があり、了承した。

(2) 要望について

- ・岡山議員、吉永議員から提出された要望書は、後日提出者を呼び、聞き取りを行った後、会派に諮ることとなった。

(3) 委員会中継について

- ・事務局から委員会中継の放映対象について説明し、了承した。詳細は別添資料のとおり。
- ・下瀬俊夫委員から「会議録に残るものについては公開が原則と思う」との発言があった。

(4) その他

- ・下瀬俊夫委員から「山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会は公立化した時点で役目が終わりと思うが、いつが終着点となるのか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「公立化のめどがつくおおむね3月末までということで考えている。公立化調査検討特別委員会をそのまま存続して薬学部をやるということは無理があると思うので一旦リセットして新たな特別委員会を立ち上げるのか今後検討したい」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「福田議員が辞職したが、理科大特別委員への会派からの人数はそのままでもいいのか」との発言があった。
- ・事務局から「定数は議決されているので会派の人数に合わせて定数を変更するのであれば議決が必要である。理科大の特別委員会は3月までが審議の期間となっているので今のまま行ってもいいのではないか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「新しく立ち上げる場合は考慮し直すということになる」との発言があった。

平成27年(2015年)11月27日

議会運営委員会委員長 大井 淳一郎